

願書の記入についての補足

願書の下書きをしましたが、説明プリントがわかりにくかったり、市立高校の下書き用紙が昨年のを印刷したために進路のしおりと違っていたところがありました。訂正のない願書を書くためのアドバイスも含めて、次にあげる点を参考に願書の記入に取り組んでください。

①市立高校の願書の写真台紙・受験票の高等学校等の欄が、下書き用紙では「高等学校」などの4つの語句が並んでいますが、実際は進路のしおりのように「高等学校」だけです。それを○でかこむことはしません。

②道立高校や市立高校の上記で説明した欄に（※ ）がついてますが、これは出願変更をしたときに高校側が記入する欄なので、（※ ）に高校名を入れたり、この中に含まれるような大きな字で書かないようにします。

③住所の記入ですが、ふだんはマンション名が書かれていなくても郵便が届いていると思います。しかし、めったにないことですが、以前マンションやアパート名が書かれていなかったために、合格通知が間違っって配達されたことがあったそうです。念のためですが、きちんと書くようにしてください。

④保護者署名は必ず保護者の方に書いてもらいますが、道立高校から市立高校（またはその逆）に出願変更する可能性がある場合は新たに願書を書かなくてはなりません。そのときの保護者署名と最初に出願した願書の保護者署名が同じになるように考慮して書いてください。実際に違っていた場合、高校側からそのことを指摘されることがあったということです。

⑤「第1志望」・「第2志望」・「第1志望及び～入学の希望」の欄、さらに道立高校の就学区分の欄の○のところをどう書くか。

・啓成高校は第1志望が「普通」、第2志望「理数」。その逆に書くこともできますが、第2志望を希望しない場合は第2志望の欄に斜線を引き、あとは空欄です。就学区分は「理数」しか書いていなければ、○はつけません。「普通」が書いてあれば1に○です。

・清田高校は1志望が「普通、さらに（ ）内にも普通と書き、コースに○」、第2志望「普通、さらに（ ）内にグローバルと書き、コースに○」。その逆に書くこともできますが、第2志望を希望しない場合は第2志望の欄に斜線を引き、あとは空欄です。

・厚別高校は第1志望に「総合学」と書き、あとはすべて空欄。就学区分も○はつけません。

・東商業、工業高校は第2志望があれば書き、さらに第3志望があれば、「希望の有無」の「有」に○をつけ、学科名を書きます。なければ「無」に○をつけ空欄にします。第2志望がなければ斜線を引き、「希望の有無」は「無」に○をつけます。就学区分は○をつけません。

・市立大通の書き方については、直接担任の先生に確認してください。

・上記以外的高校は第1志望に「普通」と書き、あとは空欄。就学区分は1に○をつけます。

※第1志望以外に合格した場合は、必ずその学科で入学します。書いたのにやっぱり第1で希望した学科でないから辞退しますということとはできません。推薦も同じです。そのようなことが考えられる場合は斜線を引きます。

⑥事前に中学校への連絡なしで、特別な配慮の有無の「有」に○はつけないでください。

⑦過去の訂正の例では札幌の「幌」、平岡の「岡」がきちんと書けていない。札幌市立の「立」や住所の一部が抜けているなどがあります。くせ字のために訂正する場合があります。

⑧清書のときも、きちんと鉛筆でうすく下書きし、間違いがないか確認してからペン書きます。